

留 学 報 告 書

記入日:2019年3月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科ドイツ文学専攻
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: universitat wien
留学期間	2018年9月～2019年2月
留学した時の学年	3.年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ドイツ語学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年2月2日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:10月上旬～1月下旬 2 学期:4月上旬～7月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料		0円	
宿舍費	495	60000円	
食費	200	25000円	
図書費	50	6000円	
学用品費		円	
教養娯楽費	150	20000円	
被服費	100	12000円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	2500	320000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路:羽田～ドーハ ドーハ～ウィーン

渡航費用

チケットの種類	通常チケット
往路	8万
復路	15万
合計	32万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

世界の歩き方、JTB

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

housing anywhere

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シェア型の家は語学向上やコミュニケーションの面で良いが、長く生活することを考えると個室の部屋が気楽で良いと思う。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ウィーン大学の国際事務室や現地の友人

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

友人とのコミュニケーションで現状把握をするようにした。巻き込まれたことはない。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では自分のスポットを買わないとWiFiが繋がらなかったため、初めは不便だった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開いた。銀行口座は学生用アカウントを開いてくれる銀行があったので簡単に作ることができた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本米(米は買えるが一般的に売っているのはタイ米が多い)、緑茶、ヒートテック、カレーやシチューのルー

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
マイナビ、リクナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
メーカー希望
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
3年生の後期に留学先にいる場合、就活情報を積極的に得ようと動く必要がある。就活サイトを活用したり、日本にいる友人から情報共有してもらったり、筆記テスト対策を進めたり、自己分析をしたり…やれることは全部して帰国すると後が楽になる。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Kultur Japans	日本文化
科目設置学部・研究科	日本学科
履修期間	10月～1月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Ina Hein
授業内容	日本の文化(伝統芸能や精神文化など幅広い)について、ドイツ語でパワーポイントをみながら講義形式で学ぶ。
試験・課題など	90分間で記述式の試験を行った。課題は特になし。
感想を自由記入	教授の印象がよく楽しく履修できた。外からみた日本を考えることで、日本が海外からどう見られているのかなどを感じ取ることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
September Intensivkurs Deutsch		9月ドイツ語集中講座	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum(大学付属の語学学校)		
履修期間	9月いっぱい		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数授業(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が5回		
担当教授	Sabine Decleva		
授業内容	10人ほどの少人数クラスでドイツ語の speaking.listening.writing.reading をアクティブに学ぶ		
試験・課題など	毎日テキストから課題が出た。週末には作文の課題がでる。試験は4技能をためすテストで午前中を使って長時間で行われた。		
感想を自由記入	ドイツ語の speaking に心配があったけれど、大学の授業が始まる前に語学学校で学ぶことで心配が解消された。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Englisch B1 phase3		英語講座 B1 フェーズ3	
科目設置学部・研究科	Sprachen Zentrum		
履修期間	10月上旬～11月下旬		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数授業(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Nicholas James Wilkinson		
授業内容	少人数でテキストを使って英語の会話を中心に学ぶ。		
試験・課題など	毎回課題が出された。英作文も頻繁に書く機会があり力をつけられたと思う。		
感想を自由記入	ドイツ語のみではなく英語のレベルを向上させたいと考えて受講した。現地で TOEIC も受験したので、その勉強にもなったと思う。		

留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	留学の情報集め
4月～7月	IELTS 受験開始
8月～9月	IELTS 受験、英語の勉強
10月～12月	留学書類提出
2018年 1月～3月	留学決定、準備の開始(冬物の衣類等を購入)
4月～7月	準備(留学に関わる手続きと荷詰め)
8月～9月	留学開始、語学学校に毎日通う
10月～12月	学期開始、歓迎パーティがたくさんある
2019年 1月～3月	帰国の準備、就職活動
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生頃から、留学することが大学での目標だったからです。幼い頃から英会話を習っていた私は、海外の人と接する機会も多く、いつか海外で生活してみたいと思って育ちました。海外の人と接する中で自分にない考え方や文化を知るのが楽しかったからです。その目標を実現しようと大学2年生から動き始めました。留学に関しては、手続きや書類準備などかなりやるべきことが多いと聞いていたため覚悟が必要でした。しかし、自分の目標のために準備をし、それを達成することができよかったです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	した準備は就職活動にまつわるテキストや書類を用意して、現地で就職活動ができるよう備えることです。3年生後期という就職活動が徐々に始める期間の留学だったため、現地で自分なりの就職活動をして帰国後に困らないようにしました。テキストでweb テストの勉強をしたり、日々ネットをチェックしてインターンシップ情報を漏らさないようにするなどしました。 しておけばよかった準備はドイツ語会話の準備です。これまで読み書きを日本で学んできたため、ドイツ語で話すことに苦労しました。日本にいて会話の機会を得ることは難しいですが、自分でできる speakingの練習法はあるので取り組むといいと思います。
この留学先を選んだ理由	まずはドイツ語圏であるからです。ドイツ文学を専攻している私は、留学するのであればこれまで学んできたドイツ語をさらに向上させたいと思いオーストリアに決めました。しかし、オーストリア人の多くはきれいな英語も話すことができるので、結果として英語力の向上もできたと思います。なので、オーストリアのウィーンへの留学は、ドイツ語も英語もやりたいという人にお勧めしたいです。日常で英語を使うことは自分から使わない限りありませんが、ウィーン大学の授業は英語開講のものもあるので、ドイツ語開講だけでなく英語開講もとってみてください。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気は、深い歴史のある大学ということもありとても重厚感があります。映画に出てきそうな場所がたくさんあって、毎日わくわくしながら大学にいていました。重厚感があるだけでなく、大学のメインキャンパス中央には明るい雰囲気の広い中庭があります。暖かい日には寝れる椅子で日向ぼっこをしました。 学生は様々な国から来ていて、多様性に溢れています。基本的に皆英語を共通言語として持っているの、英語でいろいろな国の人と話すことで視野が広がられました。
寮の雰囲気	私の暮らしていた寮は、学生寮でしたがどちらかというとマンションに近かったです。エレベーター付きの高層マンションのようでした。家賃が比較的高い寮であるということもあり、中は清潔感があってきれいです。施設としては、地下に音楽学生用の防音室がたくさんあり、1階にランドリールーム、最上階に屋上がありました。また各階の中央には、共用スペースとしてパーティールームが設置されていました。 多くを占めるのは一人部屋なので、住人とおしの交流はあまりありません。友達と同じ階に数人いる程度でした。
交友関係	9月に語学学校に行き始めた当初は、友達がおらず英語もドイツ語も不安だったためさみしい思いをすることも多々ありました。しかし、クラスでコミュニケーションをしながら学ぶうちにアジア人の友達ができ始めました。大学の授業が始まってからは、日本学科の交流会に参加することで交友関係を広げることが出来たと思います。オーストリア人やルーマニア人など様々な国の人と知り合って、パーティーをしたり旅行に出かけたり充実した毎日でした。言語ができないと自信が持てずなかなか友達ができなかったが、勉強し自分に自信をつけることでそれも解決できると思うので、これから留学される方は頑張ってください。
困ったこと、大変だったこと	留学開始直後は手続きがたくさんあるにも関わらず、オーストリアの機関の営業時間が短く、限られた時間で効率的に手続きを進めなければならなかったことです。住民票申請の役所は平日の8時から11時までしか開いていませんでした。また、たいいていのスーパーマーケットやドラッグストアも17時か18時で閉まるので、食料品を買う時間も考えながらの生活に慣れるまでは大変でした。日本で多くの店が21時や22時まで開いていることのありがたみを感じました。

学習内容・勉強について	私はウィーン大学でドイツ語学を専攻しましたが、授業は単位をとるのが難しいとのことだったのでドイツ語学の授業は履修しませんでした。その代わりに、日本学科の授業を主に履修しました。授業に日本語や日本学を学びたい人がたくさんいるので交友関係も広げる場にもなっていたと思います。授業あとに授業のパワーポイントと先生が話す内容のスク립トがネット上にアップされるので、それをみて復習しました。ドイツ語のみの授業で、授業時間だけではわからないことがたくさんあるので、復習が大切だと思います。
課題・試験について	大学の授業では課題は出ませんでした。私のとっていた授業は講義形式だったので課題なしでしたが、ゼミ形式の授業や演習の授業では課題が出ていたようです。試験は、筆記の試験でした。人物名や年号を書いたり、内容を説明したりする試験です。ドイツ語または英語で回答して良いということだったので、自信が持てる英語で回答をしました。時間は余裕をもって解けるくらいあるので、落ち着いて取り組むことが出来ると思います。頑張ってください。
大学外の活動について	日本語クラスのティーチングアシスタントをしていました。他大の日本人留学生が、ウィーン大学の日本語講師とつながりがあったので、その人を介してやらせてもらえることになりました。業務内容としては、20人ほどで日本語の文法や会話を実践的に学ぶ授業で現地人の補助をしました。テキストを解いている様子を見て回ったり、会話の時間に補助的に学生に加わったりをしました。日本語が海外でどのように教えられているのか現場でみるというのはなかなかできないので、とても貴重な経験だったと思います。
留学を志す人へ	留学はとにかく行動あるのみだと思います。私は家にいる時間はかなり少なく、ほとんどの時間は外出していました。友達の家でやるパーティーに参加したり、エラスムスの歓迎会に参加したり、ヨーロッパの近隣諸国に旅行したり、やれることは尽きません。行動する中で様々な人と出会い、たのしいことや貴重な経験ができるのでとにかくアクティブに行動してみてください。はじめは慣れないことも多く疲れてしまうかもしれませんが、やっていくうちに自然と慣れているものだと思います。今しかできないことを存分に楽しんでみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床、ごはん		起床、ごはん				起床、ごはん
	買い物、ごはん	起床、ごはん	TA	起床、ごはん	起床、ごはん	起床、ごはん	遠出
午後	授業予習	授業予習	タンデム、ごはん	授業	授業復習	友達とでかける	
		タンデム	授業	授業復習	洗濯		
夕刻	語学学校、ごはん	ごはん	語学学校、交流会	ごはん	ごはん		